

## 2 住民意向の分析

### 2.1 分析の概要

本計画の策定にあたり、住民意見による課題を抽出するため、府中町第 4 次総合計画及び府中町地域公共交通網形成計画、府中町公共施設等総合管理計画策定時のアンケート調査結果を用いた分析を行いました。

表 4 分析に使用した既存アンケート

調査名	調査対象	調査方法	調査期間	回収率	計画名
まちづくりに関するアンケート調査	町内全世帯の15歳以上から3,000人を無作為抽出	郵送配布 郵送回収	R元.11.29～ R元.12.23	54.4%	府中町 第4次総合計画
住民アンケート調査	町内の15歳以上から4,000人を無作為抽出	郵送配布 郵送回収	H31.1.10、11、13	49.9%	府中町 地域公共交通網 形成計画
府中町公共施設に関する住民アンケート調査	町内の18歳以上から3,500人を無作為抽出	郵送配布 郵送回収	R3.8.6～R3.8.27	42.3%	府中町公共施設 等総合管理計画

表 5 分析項目

No.	大項目	小項目
1	■府中町の評価	町の暮らしやすさ
2		評価の高い項目
3		評価の低い項目
4		目指していくべき将来像
5	■公共交通について	公共交通の満足度
6	■公共施設のあり方	今後の管理運営について

## 2.2 府中町の評価

### 2.2.1 町の暮らしやすさ

#### ○約 9 割が暮らしやすいと回答

府中町での暮らしについて、約 9 割の方が「暮らしやすい」「まあまあ暮らしやすい」と感じています。

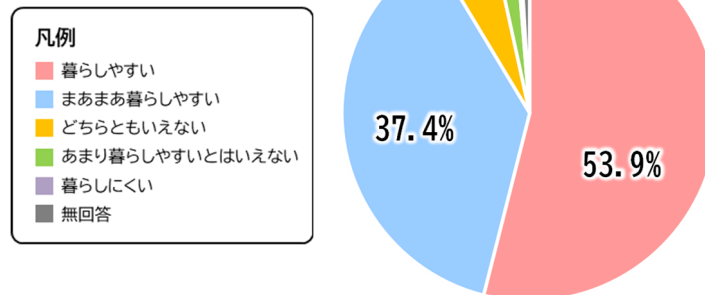


図 35 暮らしやすさ

### 2.2.2 評価の高い項目

#### ○暮らしの利便性に関する項目のうち、「日常的な買い物」が魅力の 1 位

当町の評価の高い項目（よい点）として、「日常的な買い物」が魅力の 1 位となっており、次いで「病院の利用」や「通勤・通学」となっています。当町が日常生活と通勤・通学において魅力的なまちであることが評価されています。

表 6 府中町のよい点

1 位	日常的な買い物
2 位	病院の利用
3 位	通勤・通学

### 2.2.3 評価の低い項目

#### ○安心・安全に関する項目の評価が低い

当町の評価の低い項目として、「歩行や自転車通行への安全対策」が最も低く、次いで「体の不自由な人の活動のしやすさ（車いすなど）」や「水害・地震・がけ崩れなどの災害への対策」となっています。住宅地における都市基盤の整備への要望や昨今の大規模災害への不安が高まっていると考えられます。

表 7 府中町のよくない点

1 位	歩行や自転車通行への安全対策
2 位	体の不自由な人の活動のしやすさ（車いすなど）
3 位	水害・地震・がけ崩れなどの災害への対策

## 2.2.4 目指していくべき将来像

### ○「子育てがしやすいまち」「福祉に手厚いまち」「災害に強いまち」が上位

当町の目指していくべき将来像をみると、「子育てがしやすいまち」「高齢者や障がい者も暮らしやすい福祉に手厚いまち」「豪雨災害や地震などの自然災害に強いまち」が上位となっています。

表 8 府中町の将来像

1 位	子育てがしやすいまち
2 位	高齢者や障がい者も暮らしやすい福祉に手厚いまち
3 位	豪雨災害や地震などの自然災害に強いまち

## 2.3 公共交通の満足度

### ○公共交通の満足が 7 割以上を占める

住民の交通手段の満足度をみると、「満足」「どちらかと言えば満足」という回答が 7 割以上を占めています。

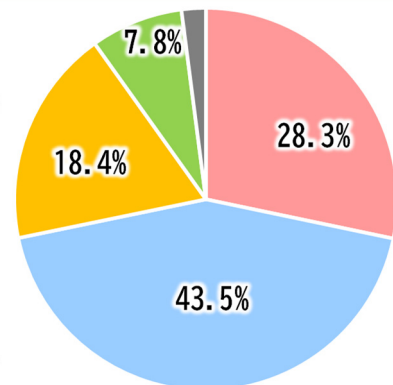
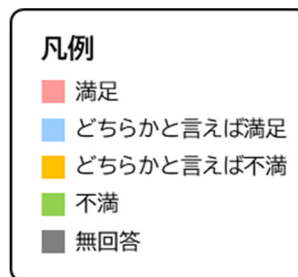


図 36 公共交通の満足度

## 2.4 公共施設のあり方

### ○施設の統廃合に関する意見が全年代で約 6 割を占める

今後の公共施設の管理運営の在り方について、住民意見をみると、「利用頻度の低い施設については統廃合する」が約 6 割を占めており、公共施設の適切な配置が求められています。

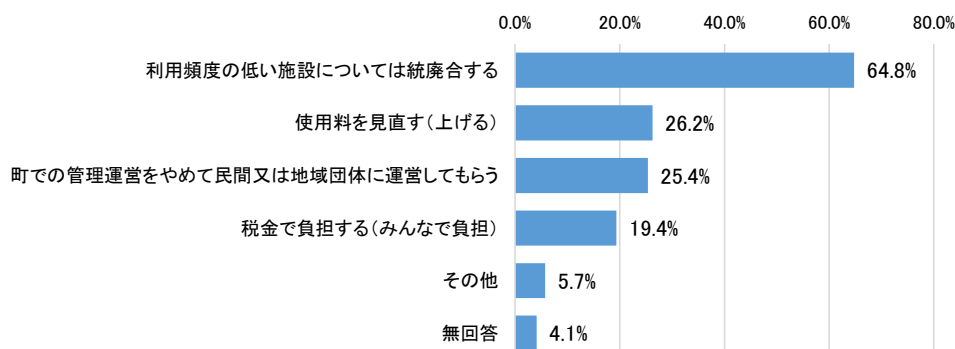


図 37 今後の運営管理について

## 2.5 住民意向分析のまとめ

住民意向の分析結果から、課題を整理しました。

### ① 日常生活の利便性の維持・向上

日常生活に対する利便性の高さが評価されており、今後も住みやすい、住み続けてもらうためには、日常生活の利便性の維持・向上は必須となります。

### ② 子育て世代、高齢者等の多様な人に住みやすいまちの構築

将来像の上位は「子育てがしやすいまち」「高齢者や障がい者も暮らしやすい福祉に手厚いまち」となっており、多様な住民にとって暮らしやすいまちとなることが求められています。

### ③ 自然災害への対応が急務

将来像で「豪雨災害や地震などの自然災害に強いまち」が3位、評価の低い点で「水害・地震・がけ崩れなどの災害への対策」が3位となっており、今後、起こりうる大災害への早急な対策が望まれています。

### ④ 高齢社会に対応した公共交通ネットワークの維持

公共交通の満足度では、「満足」「どちらかと言えば満足」という回答が多くなっています。今後の高齢化の進展を踏まえ、更なる利便性の向上や市街化区域縁辺地域への配慮が必要となります。

### ⑤ 安心・安全な住環境を支える都市基盤整備の推進

暮らしやすい、住み続けたいという意向が高い一方で、「歩行や自転車通行への安全対策」「体の不自由な人の活動のしやすさ（車いすなど）」に対する評価が低くなっています。安心・安全な住環境を支える都市基盤の整備を推進していくことが必要となります。

### ⑥ 公共施設の運用の効率化

公共施設の今後のあり方については、コスト縮減策や財源確保として「利用頻度の低い施設については統廃合する」が大半となっており、公共施設の適正な配置や統廃合などによる施設運営の効率化が求められています。

